

2017年6月5日

自社開発の水上太陽光フロートシステムを用いた太陽光発電所事業に着手

－ 農業用ため池を利用して、2,600kW を出力 －

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、自社開発した水上太陽光発電用フロートシステムを使用した太陽光発電所運営事業（自社事業）に着手し、5月26日、事業開始に際して安全祈願祭を執り行いました。これは、香川県木田郡三木町の農業用ため池を利用し、水上太陽光発電用フロート約9,500枚（パネル設置面積約29,000㎡）を設置し、出力2,600kWの水上太陽光発電所を建設するもので、年間発電量は約290万kWを見込んでいます。



【鎌入れをする永本芳生副社長】



【鍬入れをする秋月伸治四国支店長】

■これまでの経緯

当社の水上太陽光発電の取り組みは、2014年に香川県農政水産部農村整備課より委託されたフロートを用いたため池での太陽光発電の実証実験から始まりました。その後、2015年には水上太陽光発電用フロートを自社開発して販売を開始し、自社開発の水上太陽光発電用フロートは、施工中を含めこれまでに国内4件、海外2件の採用実績があります。

また、2014年より自社工場（三田川PC工場）の遊休地を活用した陸上太陽光発電所も運営しております。

■施設概要

施設名称：平木尾池水上太陽光発電所

設置場所：香川県木田郡三木町平木字南山田1035 平木尾池（農業用ため池）

事業者：三井住友建設株式会社（自社運営事業）

施工会社：SMC テック株式会社

発電出力：2,600kW（パネル出力）（パネル設置面積 約29,000㎡）

想定年間発電量：290万kW

完成および運転開始予定時期：2017年11月（事業期間20年間）

■今後の展開

当社は、再生可能エネルギー事業の推進を建設事業以外の収益源として、収益構造の重層化を図っています。当該発電所の建設・運用を通じて、関連技術とノウハウを開発・取得し、自社開発の水上太陽光発電用フロートシステムの施工例として今後の営業活動に活かしてまいります。

また、当社が経営理念として掲げる「地球環境への貢献」の一環として、同システムの開発と普及を通じて地球温暖化対策（CO2 排出削減）に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

以 上